

ローカルに目を向け

暮らしやまちの魅力と課題を

知る／考える／好きになるための

課題解決型探究研修

農 村

FARMERS
MARKET

農地と食卓を
つなげよう

×

都 市

PBL フィールドワーク 2024

スケジュール（予定）

第1回 2024年11月2日（土）14：30～16：30

トークイベント学習会①「そもそもどこまで知ってる？神戸のまちづくり」

第2回 2024年12月14日（土）9：30～11：30

トークイベント学習会②「まちづくりにかかわってみたら、〇〇だった」

第3回 2025年1月18日（土）AM／PM どちらか ※行先によります

農村（北区）または都市（長田／塩屋）でフィールドワーク＆リサーチ

第4回 2025年3月22日（土）AM・PM（夕方までを予定）

チームで議論・プレゼン制作・発表

「高校生から神戸のまちへ『こんなのはどうでしょう？』」

会場

中央区文化センター（中央区三宮町1-2-1 中央区役所と同じ建物）

募集 神戸市立高校1年生 16名 締切：10月18日（金）

募集終了しました

主催：神戸市教育委員会学校教育課

「探究」という言葉が最近よく使われます。

「探究」とは自らが課題を設定し、周囲の人と意見交換・協働したりしながら解決に向けて情報を収集・整理・分析する学習の一つ。神戸市立の高校でも、各校が授業で取り組んでいます。

今、全国のさまざまな業界で、**地域協働、ローカル、まちづくり**といったキーワードが話題になっています。

この「**P B L（課題研究型）フィールドワーク**」は、第1回・第2回で『**神戸のまちづくり**』に色々な立場や視点からかかわる魅力的で一風変わった(?) 4人の講師のトークを聞き、第3回では、都市／農村エリアでのフィールドワーク（日帰り）を通じて、まちづくりの実践者に会ってリアルな魅力や課題を学び、第4回にプレゼンテーションを行う**実践型研修**です。

実践者との対話や、現場を体験する貴重な機会を通じ、学校混成チームで**他校の生徒たちと交流・協働して取り組む**ことで、さらにその魅力が広がります。また、異なるバックグラウンドや視点を持つ人たちとチームを組み、意見を交わすことで、**多様な視点から物事を考える力、コミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性**も身につきます。

『神戸のまちづくり』の専門家たちと一緒に、皆さんの身の回りにあるたくさんの疑問や課題の解決策を考えてみませんか。

トークゲスト 第1回 (11/2)



(左) 北区役所地域協働課 **山田隆大さん**
神戸市役所で農業推進や農村活性化に携わり、「食都神戸」構想や「EAT LOCAL KOBE」など官民連携プロジェクトを立ち上げ、今はさまざまな角度から北区を応援するため、区内を走り回って活動中。

(右) 神戸住環境整備公社 **川瀬葉月さん**
神戸市役所で建築の専門知識を活かし、ハードとソフトの両面からまちづくりにかかわりながら、塩屋をはじめ、まちの楽しみ方を日々探して活動中。

第2回 (12/14)



(左) 農村移住促進コーディネーター **鶴巻耕介さん**
東京出身、北区淡河暮らし中。農村への移住、創業、就農のサポートや、農業など様々な仕事に触れ、百の知恵と技を持つ現代版百姓を目指して活動中。

(右) 空き助こうべ共同企業体
合同会社 **こと・デザイン** **角野史和さん**
長田区駒ヶ林を拠点に、空き家・空き地の再生や建築設計、住民全体のまちづくり支援にも携わり、「徒歩圏内の暮らしをより充実させること」を目的にまちなかの空き地を活用した「おさんぼ畑」でも活動中。